

この度はシマノ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。使用前に本製品の機能を十分に引き出し、未永くご愛用いただくために、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存していただくようお願い申し上げます。

SHIMANO

取扱説明書

【氷上エッジ搭載】

Lake Master CT-T

株式会社シマノ 全国サービスネット

株式会社シマノ 埼玉営業所
〒382-0043 埼玉県上尾市西宮〒9-194-1 TEL. (048) 772-6662

株式会社シマノ 東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL. (03) 3744-5656

株式会社シマノ 名古屋営業所
〒454-0012 愛知県名古屋市中区東區6-21 TEL. (052) 331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市堺区船町3丁77番地 TEL. (072) 223-3920

株式会社シマノ 中四国営業所
〒700-0941 岡山県岡山南地区青江16-6-18 TEL. (086) 264-6100

株式会社シマノ 九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町4-6 TEL. (0942) 83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●**採買対応システム**、商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ
フリーダイヤル ☎ **0120-861130** (ノーキーダイヤル) をご利用ください。
受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00(土・日・祝日除く)

●**シマノホームページ** 予約システムは <http://www.shimano.com> です。
新製品情報、釣り情報など、ブログやSNSで最新の情報が発信されています。
また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (190515) 047

-
- 商品コードが表示されています。
- 商品コード/製品コードの位置**
製品の取扱説明書・分解図・パーツ図の下部に商品コードが表示されています。また、製品の側面・底面・トップ面にも商品コードが表示されています。
- 商品コード/製品コードの位置**
製品の取扱説明書・分解図・パーツ図の下部に商品コードが表示されています。また、製品の側面・底面・トップ面にも商品コードが表示されています。
- 商品コード/製品コードの位置**
製品の取扱説明書・分解図・パーツ図の下部に商品コードが表示されています。また、製品の側面・底面・トップ面にも商品コードが表示されています。

お取り扱い上の注意

Lake Master CT-Tは、精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

安全にお使い頂く為に

- 本機は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げ店又は弊社フリーダイヤルにご相談ください。
- お使いになる人や他の人への危害及び財産への障害を未然に防止するため、本取扱説明書や外箱に表示された内容は必ずお守りください。本文中、及び外箱のマークの意味は次のようになっています。

表示の説明

警告 この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は「人が損害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

ご使用上の注意 使用前に必ずお読みください。

警告

リール本体について

- 本機は淡水の止水状況でのワカサギ釣り専用リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないでください。故障や事故の原因となります。
- 分解・修理・改造等をしないでください。故障や火災・感電・けがなどの原因となります。
- スプールを外した状態でモーターを回転させないでください。モーターチューブの破損、クラッチレバーの磨耗・発熱などから火傷・火災や故障の原因となります。
- スプールを外した状態やスプール固定ナットをゆるめた状態で**A・B**ボタンを押し続けしないでください。
- 万が一、使用中に異常な音、異常な発熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。
- 電池が新しいにもかかわらず、スプールの回転が著しく低速であったり、回転しない場合は、ただちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると事故・火災などの原因となります。

メンテナンスのご案内

●モーターチューブの交換

- ①スプール軸をゆるめ、スプールを【図1】のように外してください。
 - ②モーターチューブを指先もしくはピンセットで軽くつまみ、モーターチューブを外してください。【図2】
- ※注意 ピンセットの先端に丸みのあるものをご使用ください。モーターチューブを先端が尖ったピンセットで取り外しや取付けを行いますと、チューブが千切れたり変形したりしてしまう可能性があります。
- ③交換用のモーターチューブをモーター軸に入れてください。【図2】
 - ※【図3】の位置までモーターチューブを入れてください。また、チューブがまっすぐになるように取り付けてください。振動、異音の原因になります。
 - ④スプールを取り付け、スプール軸をしっかり締め込んでください。【図4】

●オーバーホール

ベアリングやモーター、モーターチューブは消耗品です。長期間ご使用されますと初期性能が出なくなります。シーズン前にオーバーホールに出されることをお勧めいたします。(有償)

- デジタルカウンター部は防水仕様となっていますが、リール本体は防水仕様ではありません。水没した場合は直ちに使用を中止し、速やかに電池を抜き、お買い上げの販売店または弊社フリーダイヤルにご相談ください。放置すると感電・火災などの原因となります。
- 移動時や使用しない場合は電源をOFFにしてください。誤って**A・B**ボタンを押し続けたり、クラッチレバーが巻き上げ位置となった場合、モーターが発熱し、事故・火災や電池の液漏れなどの原因となります。
- 使用中、根掛かりや大きな魚が掛かる等の高負荷が生じた場合、ただちにモーターの運転を止めてください。発熱などから火傷・火災の原因となります。
- 本体・電池共に、保管の際は子供や幼児の手の届かないところに保管してください。万が一電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
- 水に濡らしてのご使用はお止めください。
- 電池ボックス内に水が溜まると漏電、電解腐蝕の原因となり機能に影響を与えます。水が入っている場合はすぐさま電池を抜き取りふき取ってください。
- デジタルカウンター部は絶対開けないでください。感電の原因となります。故障の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 分解・改造等は絶対しないでください。火災、感電、けがの原因になります。
- 液晶部のレンズ内側に水滴の付着や曇り、ひび割れが見られた場合は、使用を止めて修理に出してください。防水機構が壊れています。
- リールに衝撃を与えたり、放り投げたりしないでください。
- リールに目立った損傷、変形、ゆがみがある状態では使用しないでください。
- 涼しくて乾燥したところで保管してください。暑いところや極端に寒いところは避けてください。
- 穂先に仕掛けを巻き込んでの竿の破損、その他に関して弊社は一切責任を負いません。

電池について

- 指定以外の電池を使わないでください。
- 新旧・異種電池の混用はお止めください。液漏れ・破裂・発熱・発火の原因となります。
- 電池の極性(＋と－)を逆に入れてしないでください。
- 火の中への投入、加熱、＋と－極間のショートをしてしないでください。
- 電池の液が目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明や目に障害を発生する恐れがあります。

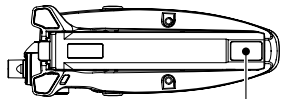
注意

リール本体について

- 釣り以外の目的に使用しないでください。
- 糸が勢いよく出ているときは、糸に触れないでください。糸で指を切る恐れがあります。
- 勢いよく回転しているスプールには触れないでください。けがをする恐れがあります。
- クラッチレバーを強い力で押し付けしないでください。機能障害や割れてけがをする恐れがあります。
- 火気やストーブのそば等、高温になる場所で保管・使用はしないでください。変形や故障などの原因となります。
- お手入れ時、シンナー・ガソリン・ベンジンなどの有機溶剤はご使用にならないでください。変形や故障などの原因となります。
- 直射日光・高温・多湿を避けて保管してください。
- 落下などの衝撃を与えないでください。破損、内部電子部品の損傷、故障を起こす恐れがあります。
- 尻手ロープ取り付け穴に尻手ロープを取り付けた場合でも、強い衝撃で外れる場合があります。お取り扱いには十分ご注意ください。
- 巻込防止ガイドに強い衝撃を加えないでください。曲がる恐れがあります。
- 糸がスプールの下に挟まった場合は、無理に引っ張らず、電源をOFFにしてスプール軸をゆるめ、スプールを外してから糸を取り外してください。
- 何度も巻き上げを繰り返すと巻上げ速度が遅くなる場合があります。
- マグネットの周囲、上に置かないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示の原因となります。
- ご使用の際は必ず尻手ロープを取り付けてください。誤って水中に落下させると故障の原因となります。
- 液晶面に力を加えると、防水機能が低下し、故障の原因となることがあります。液晶面には力を加えないでください。
- 液晶の表面は傷が付きやすいので、画面をふくときは十分に注意してください。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれたり、強い衝撃等により素材の表面が鋭利になった場合には、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。
- 本体を改造したりしないでください。電動リールの性能を損ない、安全機能が動かなくなりけがをしする恐れがあります。
- 船べり停止位置は巻き上げ張力等によってズレる事があります。停止位置がズレてきた場合は「Oセット」して補正してください。停止位置がズレると竿の穂先を折ったりする恐れがあります。

- メンテナンス後にドライヤーや発熱器具を使った乾燥は止めてください。樹脂が変形したりする恐れがあります。

- 図のリールの足部にマグネット(別売)を付けることで、プレート(磁性金属)に固定できます。



マグネット取付位置

リール落下防止や大型ワカサギが掛かって仕掛けが重くなった時のリールの浮き上がり防止にお勧めです。
※マグネットは付属していません。

電池について

- 長時間使用しない場合は、必ず本体から電池を取り出して保管してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの原因となります。
- 電池を保管・捨てる場合は、接点部分にテープを貼る等の絶縁を行ってください。
- アルカリ電池を推奨します。マンガン電池ですと使用時間は半分程度となります。
- Ni水素電池等の充電電池を使用した場合は電池残量マークは正確に表示されません。目安として4、5時間の釣行時は予備電池をご持参ください。
- 電池マークは目安としてご覧ください。

ロッドについて

- 根掛かりは、ロッドを介さず糸を手にとって外してください。その際、糸で手を切る場合がありますので、手袋やタオルで手を保護してください。
- 仕掛けを巻き上げる際に、巻き過ぎますとサルカンや仕掛けがロッドのトップガイドに当り破損を招く恐れがあります。巻き上げの際は、トップガイドの先にゆとりを持たせて取り込んでください。
- ロッドは規定サイズのロッド元径をロッド取り付け穴に押し込み、簡単に抜けないことを確認してください。ゆるんだ状態でご使用になりますと、破損や折れを招く恐れがあります。また使用中、振動によりゆるむ場合がありますので、時々ご確認ください。

仕様

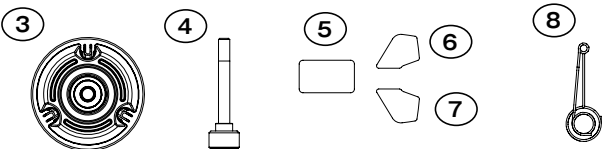
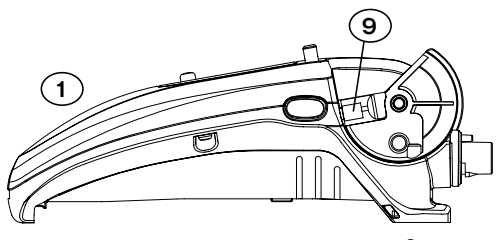
●電池仕様

アルカリ乾電池単4×2本(別売)
連続使用7～9時間、DC3.0V以上で動作

※製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

交換パーツ用分解図

部品番号	部品名
1	本体組
2	電池カバー
3	スプール組
4	スプール軸
5	クッションシートA
6	クッションシートB
7	クッションシートC
8	巻込防止ガイド
9	モーターチューブ



レイクマスター CT-Tの特徴

このレイクマスター CT-T はデジタルカウンターが搭載されており、いろんな便利機能が搭載されています。

1 5cm刻みの水深表示。

マーカリーの無い糸をご使用されましても、釣り場の水深が一目で分かります。

2 船べり自動スローストップ(氷上モードOFF)。

仕掛けを掴みやすい位置に停止させ、0セットをしてください。次回からその位置「0.00」で止まってくれますので手返し抜群です。又、止まる手前の約1mからはスローな巻上げに変化しますので、仕掛けが急激に止まってしまうワカサギのハリ外れを抑えてくれます。
※穂先付近での0セットは行わないでください。
※減速スピード(速さ)を設定することはできません。

3 巻き上げスピード調整。

巻き上げのスピードを7段階で調整できます。

4 糸落スピード表示。

フォール時のスピードを表示します。(単位:m/s)

※リット フォール中、アタリが良く出るフォールスピードの目安や、棚まで速く到達させたい時のオモリ選択の目安になります。

5 左右巻き上げボタン機能切り替え。

左右のボタンA、Bはそれぞれ「チョイ巻き」「連続巻き上げ」と機能が分かれています。お客様の好みにより機能を入れ替えることができます。

6 電池残量表示。

電池残量を3段階で表示します。釣行前に残量をご確認頂き、楽しく釣りをするために必ず予備の電池をご持参ください。標準はアルカリ単四電池2本となっていますが、マンガン電池でもご使用も出来ます。その場合、使用時間、巻き上げ速さが極端に短く、遅くなります。

※ご注意 このリールはスプールの回転をマグネットを使ったホール素子と呼ばれる電子部品で読み取っています。従いまして、リールのスプール周辺に他のマグネットを使った製品等を持ってくると誤作動を起こす場合がありますので極力他のマグネット製品から遠ざけてご使用ください。

7 指定糸巻学習機能。

電子制御されておりますので、ナイロン、フロロ、PEの主要な糸の種類、太さ(号数)を選択し、任意の糸の長さを巻き取ることで、リールがご使用になる糸を学習します。

※糸の種類、糸巻き形状、ラインテンションの変動により、デジタルカウンター表示と実際のラインの長さが大きく異なる場合もあります。目安としてご使用ください。

8 自動棚停止機構。

デジタルカウンターに棚を入力するだけで次回から仕掛けが自動でその棚で止まります。

※棚停止機構は2m以上から有効です。使用環境により、設定した棚位置よりズレが生じる場合があります。

9 氷上モード(ON/OFF切替可能)。

船べり停止の手前で、巻上スピードをスローに切り替えるモードです。切り替え位置は設定が可能です。(位置設定:0.5~2m【単位0.5m】、初期設定:氷上モードON/位置1m)
※氷上モードON時の減速スピードは、氷上モードOFF時よりも遅いスピードになります。
※氷上モードON/OFFに関わらず、減速スピード(速さ)を設定することはできません。

【リット】船べり停止の手前で自動的に超スロースピードに切り替える事で、仕掛けのハリが氷の角(裏)に深くささることを防ぎます。深くささらなければ、オモリの重さを利用して素早くハリを外せます。

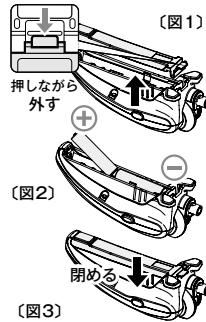
10 船べりアラーム(アラームON/OFF切替可能)。

巻上げ中、水深4mより2m間隔で「ピッ」、水深0mで「ビッ」と鳴り、仕掛けが船べりに近付いて来るのをお知らせします。竿先を見なくても素早く魚の取り込みに対応が可能になります。

操作方法

1 電池の入れ方。

- 電池カバーを(図1)の様に外してください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります。)
- ナニの向きを間違えないように入れてください。(図2)
- 電池カバーを(図3)の要領で閉めてください。(低温環境でご使用時、電池容量が低下することがあります。)



2 電源のON/OFF。

- ON/OFF ボタンを3秒以上押しすると電源がONします。
- 消す場合も同じボタンを3秒以上押しせばOFFになります。

3 ご使用になる糸をリールに学習させます。

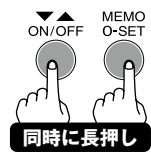
このリールは電子制御されているリールです。糸を巻かれる場合は巻かれる糸の種類、巻かれる糸の号数を選択していただいた後、お客様任意の糸の長さを巻いていただく必要があります。内蔵している糸の種類、太さは下表を参照してください。

PE	0.09号、0.1号、0.125号、0.15号、0.175号、0.2号、0.25号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号
ナイロン	0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号、1.0号
フロロ	0.15号、0.2号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号

それではさっそく糸巻き学習を始めましょう。

C/Dボタン同時長押し(3秒以上)で学習モードへ

※糸巻き学習モードをキャンセルされる場合、C/Dボタンを同時長押ししてください。水深表示に戻ります。



① ライン種類の選択

ライン種類が点滅します。Dボタンを押すごとにPE・ナイロン・フロロが順に切り替わります。巻かれるライン種類を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン種類を決定します。



② ライン号数の選択

ライン種類決定後、ライン号数が点滅します。Dボタンを押すごとにライン号数が順に切り替わります。巻かれるライン号数を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン号数を決定します。



③ ライン巻き取り量の入力

続いて「0.00」(巻き取り量)が点滅します。スプールの任意の長さの糸を巻いてください。巻き取りはチョイ巻きのみです。巻き取り量が表示されます。巻取り完了したらCボタン長押しで学習モードを終了してください。

※ご注意 糸を巻かれる場合はスプールの偏って巻かず、均等になるように巻いてください。99.95mまで学習可能です。それ以上の長さは学習できません。

学習モード終了

水深「0.00」が表示されます。

※糸を巻き込みすぎたり、糸を出しすぎた状態で0セットを行われますと糸巻き学習が狂ってしまいます。絶対にお止めください。

4 専用クッションシートを貼りましょう。

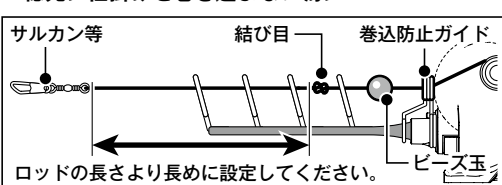
付属の専用クッションシートを左図の様に底面に貼ってご使用ください。

5 竿をリールにセットしましょう。

リールの穴径は5mmです。無理をせず竿の取り付け穴に竿を奥まで取り付けてください。無理をして取り付けますと竿を破損する場合がありますので注意して取り付けください。振動で緩み場合がありますので、釣りをされる時にも時々ご確認ください。

6 仕掛けをセットしましょう。

ガイドに道糸を通し、仕掛けを結んでください。
※穂先に仕掛けを巻き込まない為に



慣れない間は穂先付近で0セットせず50cm程度余裕を持って行うようにしてください。
※上記設定を行わず、穂先に仕掛けを巻き込んだり穂先破損に関して弊社は一切責任を負いません。

7 0セットを行いましょう。

「0セット」とは仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で、O-SET ボタンを長押しすればOKです。次回からはその位置で仕掛けが止まります。又、スローストップが入っていますのでその位置の約1m手前からスローな巻上げになります。
※糸の種類、スプールの糸巻き形状、諸条件により、カウンター表示水深と実際の糸の長さが変わってしまうことがあります。
※穂先付近ぎりぎりの0セットはお止めください。ご使用される糸の種類、特にナイロン糸は伸び縮みしますので仕掛けが穂先に巻き込まれ竿を破損してしまいます。

※アラーム機能がONの場合、0セット機能作動時、「ビッ」と鳴ります。

●又、道糸が途中で切れてしまった「高切れ」の場合も、仕掛けを結び直し、仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で0セットボタンを長押しすると、マイコンが自動で道糸の長さを再検出し正確に表示してくれます。

8 糸の出し方、止め方。

●クラッチを「FREE」に倒すと、スプールのフリー状態になり糸が出て、仕掛けを落下させることができます。底まで一気に落とすとうまくクラッシュの原因となるので、スプールに指をあて、サミングしながら落とします。

●クラッチを「LOCK」にすると、糸は出ません。(強く引っ張ると出ます)

9 棚を決めましょう。

「自動棚停止を使う」:本製品には自動棚停止が搭載されています。自動棚停止はデジタルカウンター表示2m以上で有効です。使用環境により、設定した棚位置よりズレが生じる場合があります。

●棚停止記憶…停止させたい棚でMEMO ボタンをチョイ押しします。水深表示部分が2度点滅すれば記憶完了です。リセットするまではその棚で仕掛けが何度でも止まります。

●棚停止リセット…2つの方法があります。

- MEMO ボタンを連続で素早く2回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が2度点滅すればリセット完了です。
- 水深表示2m未満で、MEMO ボタンを1回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が1度点滅すればリセット完了です。

※①のみ、アラーム機能がONの場合、「ビッ」と鳴ります。

「ラインストッパーを使う場合」:クラッチを「LOCK」にし、スプールもしくはモーターで巻き上げ、棚を決めます。棚が決まったら、スプールに付いているラインストッパーに道糸を引っ掛けます。そうすると次回からも同じ棚で止めることができます。

10 モーターでの巻き上げです。

リールの左右にA、Bボタンが付いています。どちらを押しても巻き上げ動作になりますが、押している間だけ巻き上げる「チョイ巻き」と一度押しと船べり停止位置まで自動に巻き上げてくる「連続巻き上げ」が分かれています。(もう一度押しと停止します。)

●初期設定ではAボタンが「チョイ巻き」、Bボタンが「連続巻き上げ」に設定されています。(液晶画面でR表示がある場合、この設定になっています。)

●ボタンA、Bの機能を入れ替えることも可能で、C/Dボタンを同時に押しと液晶画面のRとLが交互に入れ替わります。L表示の時はAボタンが「連続巻き上げ」、Bボタンが「チョイ巻き」となります。ご自分の使いやすい設定で行ってください。

●連続巻き上げ中に「チョイ巻き」を押すと「チョイ巻き」に切り替わります。その逆は切り替わりません。又、クラッチがフリー状態で、A、Bボタンどちらかを押し、巻き上げ動作になるとクラッチは自動で「FREE」から「LOCK」に切り替わり、巻き上げる事が可能となります。

※ご注意 水深表示0cm以下はチョイ巻きしか動作しませんが、穂先巻き込みには十分ご注意ください。スプールの固定ナットをゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

11 巻き上げの速さを設定しましょう。

巻き上げの際、お気に入りの速さに設定する事が可能です。各設定は下表を参照してください。

L	1	2	3	4	5	H
0.8m/s	1.5m/s	1.8m/s	2.0m/s	2.2m/s	2.4m/s	2.8m/s

初期設定はHとなっています。設定を変えるのは、Dボタンをチョイ押しすると巻上スピードが変わります。その日の状況に合わせて設定してください。

※ご注意 スピードはあくまで目安です。電池の状況、負荷によっても変化しますのでご自分で設定を調整してください。チョイ巻き、連続巻き上げ別々の設定はできません。

12 船べり自動スローストップ。

巻き上げている時、船べり停止位置「0.00」の手前約1mから巻き上げがスローになります。急に止まると、その衝撃でせっかくのワカサギが針から外れてしまう事がありますので船べり自動スローストップ機能が入っております。故障ではございません。

13 さあ釣り開始です。

快適な釣りが行えるよう、実釣前には必ずリールが正常に移動するか確認して実釣に備えてください。

- 道糸は古くなっていないか?
- 電池はOKか? 予備の電池は持ったか?
- モーターチューブは痛んでいないか、それなりのトルクで巻き上げられるか?
- スプールの回転は正常か?

楽しい釣りをを行うためにも上記程度のご確認をお願いいたします。

各部の名称と動き

LR切り替え。

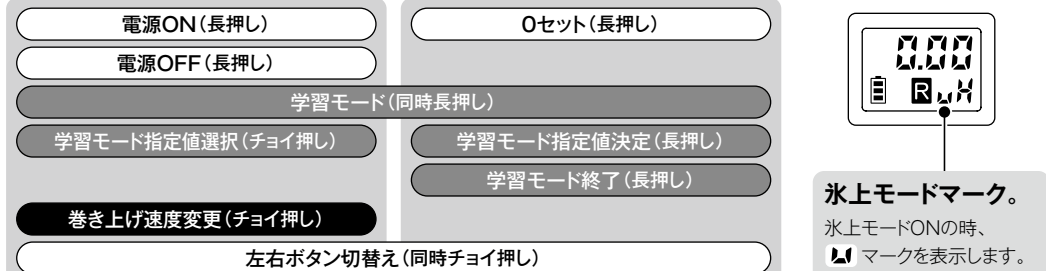
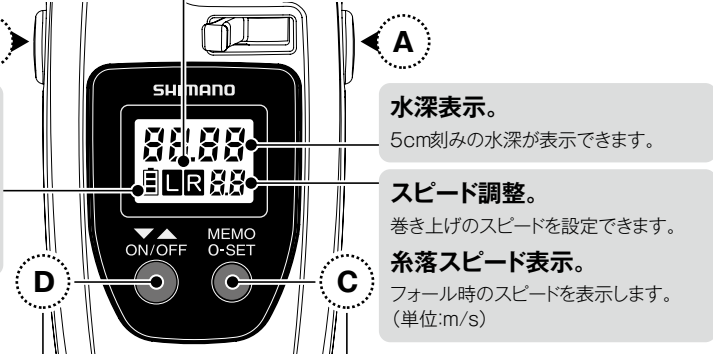
A、B部分に巻き上げボタンを装備しています。R表示の場合は下記の設定で作動します。(初期設定)

- A … チョイ巻き。(押ししている間だけ巻き上げ)
 - B … 連続巻き上げ。(一回押しと、船縁まで連続で仕掛けを巻き上げます。)
- C/Dボタンを同時にチョイ押しすることでA、Bの機能を左右切り替え可能です。
L表示の場合は上記の逆で作動します。

電池残量マーク。

電池残量をしっかり表示。アルカリ乾電池単四2本、連続使用で7~9時間程度ご使用できます。使用状況により短くなる場合がありますので、必ず予備の電池をお持ちください。

※図は説明のために液晶を全部点灯させています。



スプール。

ベアリング2個搭載。軽負荷落下抜群!

スプール軸はしっかりと締め込んでご使用ください。ゆるめるとモーターが回転しなくなります。緩めたからと言ってスプールのフリーが良くなるわけではありません。

スプールホルダー。

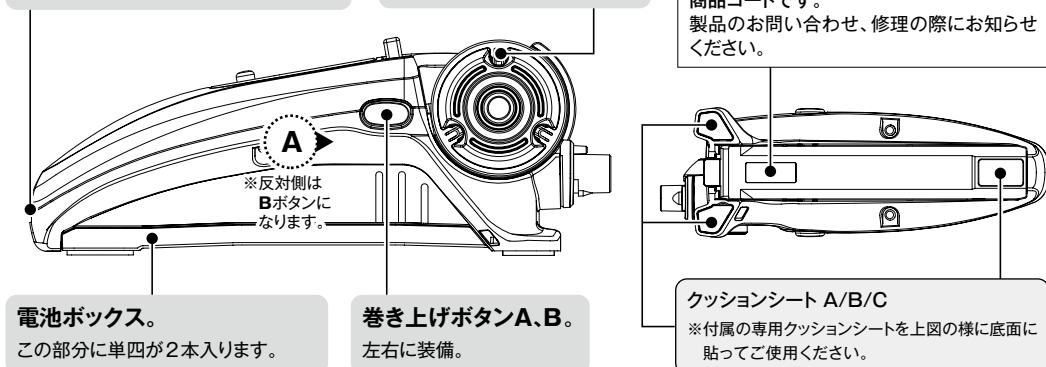
糸絡みを防止します。

尻手ロープの取り付け位置。

尻手ロープが取り出しにくい場合は先の尖った物で引っ張り出してください。

ラインストッパー。

糸止め3ヶ所。棚決めの際にご使用ください。



スプール部分の分解

スプール軸をゆるめて取り外しするとスプールの取り外しが可能です。取り外しの際は右図をご参照ください。

※ご注意 スプール軸をゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

